

ヤマガタ仕事ラボ通信では、採用力を高める取り組みをされている山形県内の企業の情報をお伝えしています。掲載内容についてご不明な点があれば、弊社メンバー&運営パートナーまでお問い合わせください。

【新卒採用をアップデート！】

ヤマガタ仕事ラボでは、各企業が『自社の特徴・個性』をWEBサイト上で「スイミー」のようにまとめて伝えることで、都会の大企業にも劣らない『山形で働く魅力』を学生に感じてもらうことを目指しており、山形に関心がある会員学生とのマッチングをWEB上&コーディネーターの手動で行っています。採用をアップデートするための「共に学びあう機会」もコツコツ作っています。

企業同士は、ライバルでもあり、若者から山形を選んでもらうための仲間でもある！一緒に頑張っていきましょう！

マッチング

合説での会社説明について学生目線でアドバイス



須貝 未菜



弊社で活動するやまらぼインターンが企業を訪問し、「合同説明会の企業ブース」を模して会社案内を実施。それを学生が聞いて、思ったことや学生目線でのアドバイスなど行いました。

企業コメント

「学生目線からのご意見を聞くことができかなり刺激になりました。今度、見学希望者が来社するので、アドバイスいただいたことを、そこから実践していきます！！もしまた、就活中/就活未満の学生さんの希望や機会があれば、面接練習や会社見学などで当社をお使いいただければと思います」。

「やまらぼインターン」活動情報

(株) キャリアクリエイトで活動する、学生と企業、学生と地域、学生と学生が「つながるしくみ」を自分（たち）で企画し運営することがテーマの実践型インターン。（自社の新卒採用を目的としたものではありません）

採用事務

求人票提出システムを使って、各大学へ求人票を一斉送信



松本 陽子

大卒人材を募集しているが、大学への求人票提出を行ったことがない企業様のお手伝いを行いました。最近では大学独自の求人票より、キャリアスUC・求人受付NAVIなどに登録し求人票を送る、という流れになっており、特に私大はその傾向が強いようです。山形県とUターン協定を結ぶ大学や山形大学もその例に漏れません。大学への求人票提出は初めて&日常業務に追われてなかなか出来ずにいた企業様でしたので、会社に訪問して、一緒にシステム登録を完了し、初めての求人票提出を実施することが出来ました。初めて登録する場合はIDをとったりと手間はかかりますが、『まずは学生に会社を知ってもらう』チャンス。情報発信の第一歩です。

選考プロセス

学生の興味関心を高めるお手伝い



田中麻衣子

お手伝いさせていただいているA社の選考に進んでいる2人の学生から相談を受けました。1人は就活の軸に迷いがある。もう1人はいろんな企業をみている最中。就活の軸に迷いがある学生には、さまざまな問いかけをし、「働く上で大事にしたいこと」に自分で気づく働きかけをしたことにより軸が明確になってきて、A社を選ぶ理由が本人の中で明確になったようです。もう1人は、会社説明会の後に個別に採用担当と話す機会をセッティング。結果「A社で働けないと嫌だ！とってしまうほど、A社への気持ちが強まりました。」と、学生からの志望度アップに繋がったようです。

田中、Twitterで採用支援を行う中での学びを発信しています。フォローお願いします★Twitterアカウント「田中まいも@山形の採用支援・就職転職の相談乗ってつなぐ人/ @maimo15」で検索してください！

[運営パートナー] Partner



伊藤麻衣子

WLS.
work life shift



これからのインターンシップへの対応

昨年6月の文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(三省合意)で、今年の3年生(25卒)が参加するインターンシップが大きく変化します。まだ24卒の採用活動も続いているのに!という時期ですが、学生が夏のインターンシップを探し始めるのが6月なので、今から対応する必要があります。今後「インターンシップ」を呼称するためには細かい基準に準拠しなければならず、また、高校生のインターンシップは対象外なので、かなり「ややこしい」ことになってきています。企業はインターンシップの目的や内容を明確にすることが必要になりますので、準備も運営もこれまで以上に工数がかかりそうです。採用活動の早期化にも拍車がかかり、専従の人事を置いている大手企業が優位な状況が進むかもしれません。今のところ罰則等はありませんが、今のうちにインターンシップの基準について確認しておく必要があります。対応等、ぜひご相談ください!

* 詳細、その他の近況は、左側のQRコードから。

～ 学生と企業を繋ぐ役割として 現場より ～



浅野えみ



小中高: 山大附属小学校5年生の「働くについて」の発表会にお招きいただきました。PTA保護者の協力のもと、子供の素直な目線で、興味のある仕事についてインタビューをし、PowerPointで作った資料で発表してくれました。内容だけでなく、OAスキルの高さに驚きます。近い将来、若い人たちに教えてもらう日も来るのかな・・・そんな事も感じながら、小学生の学びから、私もたくさん学ばせていただきました。

大学: 年度最後の就活セミナー、学生と共に走り抜けました。最近の学生は「地元」を希望勤務地とするのではなく、**地元と行き来しやすい「含むエリア」**で、と考えています。また最初の説明会はオンラインだと気軽に参加できていいようです。定期的開催されている・またHPの更新頻度が高いと印象が良い&安心するという声が多くあります。

企業・行政: 山形県産業構造審議会に出席して参りました。県の就職情報サイトの閲覧数は、令和6年度までの目標数を倍上回る結果との事。県の公式サイトである、こちらで丁寧に伝える。写真1枚を工夫する。「伝える工夫」ここを大事にしていくことがキーとなりそうですね。興味を持ってもらう最初の「きっかけ」の御準備、今一度お願いします。

☑ **最近のセミナーの記録・お知らせはこちらQRコードから。**

[山形 採用戦略を考える]



原田幸雄

24卒(新4年生)の合説に25卒(新3年生)が現る

3月1日に大学生の採用広報解禁日を迎え、早1ヶ月。華々しくスタートしたたくさんの合説ですが、学生の入りは減少しているようです。これは、全国的な傾向ですね。入学からコロナ禍でオンライン学習を余儀なくされてきた24卒にとって、リアルに足を運ぶというのは、けっこうハードルが高いのかもしれませんが。一方で、24卒の合説に25卒も少ないながら参加するという早期化も進展しています。これは全国的に起きている現象のようです。

そんな情報をきっかけにネット検索してみると、たしかにいろいろと出てきます。ぜひ「合説 2年生」とググってみてください。確かに「就職活動の早期化」と捉えることもできますが、その文脈で捉えると、大手企業と同じ土俵での争奪戦に足を突っ込むことになります。低学年の学生とのコンタクトは「学生を知る機会」と捉えて、対価として学生に「成長の機会を提供する」くらいの色合いのソリューションがないものか、思案しております。

大学1年生、2年生とのつながり方を一緒に考えてみませんか?

【お問い合わせ】 山形を未来に繋いでいきたい。だから私たちは、人と組織・地域をつないでいます。



株式会社 **キャリアクリエイト**

990-2423 山形市東青田2-10-9 TEL : 023-641-8807
E-mail : welcome@career-create.co.jp